



檜 収 第 1 3 1 1 号
平成20年10月23日

国土交通省道路局長 殿

檜原村長 坂 本 義 次



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号の文書をもって提出依頼のあった件、別紙のとおり回答いたします。

問合せ先

檜原村 産業環境課 建設係

電話 042-598-1011

(内線122)

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

東京都 檜原村

本村で住民アンケートをとると必ず道路整備が1位又は2位と上位に上がってきます。それ以下に位置する医療等の要望についても、第一に道路整備が行われていなければ次の要求が得られないからです。特に身近な地方道・生活道は住民の生活に必要不可欠な存在であり、国民に対して自分たちの道路という意識をもっと持たせる必要があると思います。

使いやすい道路づくりは、道路建設だけでなく道路上に設置される標識の位置や、見易さ等にも大きく影響される。カーナビゲーションを備える車も多くなってきたが、複雑に変化する路面や交差点には標識や路面表示の力が大きい。また、比較的交通量が少なく見通しの良い道路でも、青信号に従い発車すると次の信号では必ず赤信号に変わる、といったように連携の悪い信号機も目にする。CO2削減などの面からも改めたい一例である。

ゲリラ豪雨と呼ばれる類いの集中豪雨が近年多くなってきた。今後の気象データをみる必要もあるが、時間あたり雨量に対応する施設作りから分当たり或いは10分当たり雨量での対応が必要ではないだろうか。

○現状	○課題
村外へつながる主要な道路が1本であり迂回路が無い。	山間部における道路は自然災害等により通行止めと成ることが多い。人口密集地域を結ぶ道路や生活に重要な道路については、迂回路の確保がほしい。また、行政境をまたぐ路線の新設については、とかく「一方の自治体のための建設」という要素が大きくなるので国や都道府県で総合計画を作成し、調整役となっていていただきたい。
冬期における路面の安全性の確保	自動車のスパイクタイヤがスタッドレスタイヤに替わって久しいが、凍結した路面に対してはまだまだ性能的には劣るようである。山間部における道路は、日中、太陽のあたる部分は夜間の冷え込みでも凍結しにくく、降雪や凍結があっても比較的早く融けます。道路に日のあたらない部分が増えてきたのは、道路沿いで育った人工林(常緑樹)が木材価格の低迷から手入れの行き届かない、枝の多い樹木となってきたところにあります。現在、村ではCO2削減、環境林の確保から手を入れています。安全な道路の確保の面からも伐採協力を求めるようなシステム作りが出来ないでしょうか。

道路は、単に人や車が通る空間ではなく、人々の生活そして命そのものである。大都市間を結ぶ道路、市街地と市街地を結ぶ道路、山間地に暮らす人々の生活の道路、山や畑の手入れに歩く通称「赤道」と称される里道。それぞれの道路には、それぞれの目的に合った規格があつてしなくてはならない。今回「柔軟性のある道路構造令のあり方検討委員会」のような討議の場で議論していただき、地域に見合った規格の道路が認められるよう望むものであります。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④
東京都 檜原 村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・良好な景観の形成 ・ ・ ・	樹木で覆われ薄暗い道路と河川の間の樹木を伐採する	観光道路としての要素も高いので、清流が見られ明るくなった道路は開放感がある。また、カーブでの見通しが良くなり対向車の確認ができたり、路面凍結を緩和し、事故の予防につながる。	